

## PRESS RELEASE

2021年2月12日

## 『渋沢栄一 論語の里 循環バス』運行開始に向け、2/16に深谷市でマスコミ公開を実施

## 栄一翁ゆかりの施設をひと巡り、路線バスに県内初の営業用・自動運転バスも一部運行

深谷観光バス株式会社  
埼玉工業大学

深谷観光バス株式会社（本社：埼玉県深谷市、代表：高田勇三）と、埼玉工業大学（本部：埼玉県深谷市、学長：内山俊一）は、『渋沢栄一 論語の里 循環バス』を、本年2月16日（火）～令和4年1月10日（月）の予定で運行します。

近代日本経済の父と言われる栄一翁ゆかりの地を、深谷で生まれた先進の自動運転バス（開発：埼玉工業大学）も路線バスとして走ります。県内初となる自動運転バスの営業運行開始となり、一部の区間を自動運転により走行します。埼玉工業大学はマイクロバス「リエッセ II」をベースに自動運転機能を搭載した自動運転マイクロバスを開発し、実証実験を重ねてきました。またこの度、路線バスとして営業運行するために緑ナンバー（業務用）を取得しました。

●自動運転バスの運行に関する情報：[http://www.fukayakanko.com/Rongo\\_no\\_Sato-RotationBus.html](http://www.fukayakanko.com/Rongo_no_Sato-RotationBus.html)

2021年放映のNHK大河ドラマ第60作の主人公は、新一万円札の顔としても注目される「渋沢栄一」です。渋沢栄一の生誕地である深谷市には大河ドラマの放映に合わせて、『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』（深谷市）が開館されます。ドラマ放映およびドラマ館の開館に伴い、全国から多数の来場者が予想され、渋沢栄一翁に関連する論語の里を見学する観光客の移動ニーズに対応するため、循環バスが運行します。

この循環バスは、大河ドラマ「晴天を衝け」深谷市推進協議会（本部：埼玉県深谷市、会長：村岡正巳）の協力により、深谷観光バスが2路線3系統を、平日に1日7本、休日には13便を運行します。

つきましては『渋沢栄一 論語の里 循環バス』の運行に先立ち、2月16日（火）11時30分より、深谷市の『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』入口前にて、報道関係者向け事前公開、取材をご案内いたします。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が発令中のため、感染予防対策に配慮して実施します。取材にあたり、事前申し込み制による限定対応となりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



自動運転バス（埼玉工業大学開発）

## &lt;報道関係者向け公開の概要&gt;

## 1. 取材案内

- 日時：令和3年2月16日（火）11時30分～12時30分まで
  - 会場：『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』入口前  
（深谷生涯学習センター・深谷公民館 埼玉県深谷市仲町20-2）
  - 内容：安全祈願、および自動運転バスの試乗会
- ※報道関係者の方には試乗・取材をして頂けます。前日までに下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

## 2. 連絡先

- ・埼玉工業大学 産学官交流センター 担当：加藤康彦  
〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690 TEL 048-585-6856（直） E-mail：[kato@sit.ac.jp](mailto:kato@sit.ac.jp)
- ・深谷観光バス株式会社 担当：取締役営業部長 越塚聡一  
〒366-0829 埼玉県深谷市西大沼356 TEL. 048-571-1881 E-mail：[toshikazu@fukayakanko.com](mailto:toshikazu@fukayakanko.com)

## ○ バスの運行計画について

循環バスは、JR深谷駅北口を出て徒歩5分、旧中山道の仲町バス発着所から、大河ドラマ館、渋沢栄一記念館、旧渋沢邸・中の家、道の駅おかべ、JR深谷駅北口（降車のみ）などを経由する路線です。

平日は7便、休日は13便を予定しています。

運行期間は、本年2月16日（火）～令和4年1月10日（月）の予定です。

その車両には深谷観光バスと、埼玉工業大学が開発した自動運転バスが、埼玉県内初の営業運行をします。

自動運転バスの運行日及び運行スケジュールは、深谷観光バスのHPにてご案内しております。システム調整等の為、自動運転バスのスケジュールが急遽変更される場合がございます事をご了承下さい。

乗車券は乗り降り自由の「1日乗車券（大人500円 小人250円）、1回のみ乗降の「1回乗車券（大人250円 小人120円）」の2種類を用意しております。こちらの乗車券では一部運行ルートが重複する「コミュニティバス くるリン号」には乗車できません。

## ○ 自動運転バスについて

マイクロバス「リエッセII」をベースに埼玉工業大学が開発した自動運転機能を後付けで搭載したマイクロバスが、路線バスとして営業運行するために緑ナンバー（業務用）を取得しました。

車両の仕様は、大きさ628×221×281cm、重量4.9t、補助席含め24人乗り、4000ccディーゼル車で、AIPilot/Autowareにより自動運転の実証実験用車両です。

Autowareを利用し、AIによる障害物の検知（識別・分類する）機能を強化して、複数のライダーやカメラの画像情報をディープラーニング（深層学習）により周囲環境としてAIで認識して、障害物を回避して走行することも可能です。

埼玉工業大学の自動運転バスは、埼玉県が将来の事業化を目指して行うスマートモビリティの実証を支援する「埼玉県スマートモビリティ実証補助金」に2年連続で採択されました。

2019年度採択（テーマ：公道走行可能な自動運転バスの実験車両とAIの実用化・市販化）

2020年度採択（テーマ：ドライバー不足解消に役立つ自動運転・安全運転支援機能の開発・商品化）

同車両の開発には株式会社ミクニライフ&オート（社長：大西 浩樹、本社：埼玉県加須市）の全面的な協力に

より実現しています。

- 「大河ドラマ館」公式ホームページ：<https://shibusawaeiichi-fukaya.com/>
  
- 『渋沢栄一 論語の里 循環バス』運行詳細（深谷観光バス株式会社）
  - ・ 循環バス路線図：[http://www.fukayakanko.com/pdf/TaigaRotationBus\\_Map.pdf](http://www.fukayakanko.com/pdf/TaigaRotationBus_Map.pdf)
  - ・ 循環バス時刻表：[http://www.fukayakanko.com/pdf/TaigaRotationBus\\_Time.pdf](http://www.fukayakanko.com/pdf/TaigaRotationBus_Time.pdf)
  
- 自動運転関連情報
  - ・ 埼玉工業大学 自動運転特設サイト：<http://saikocar.sit.ac.jp/>
  - ・ 埼玉工業大学「自動運転バス」を開発（2019.08.2）  
～公道走行可能な自動運転バスの実用化・市販化に向けて～  
[https://www.sit.ac.jp/media-s/2019/press/190805\\_01.pdf](https://www.sit.ac.jp/media-s/2019/press/190805_01.pdf)

\*：「Autoware」は The Autoware Foundation の商標です。

#### <お問い合わせ>

- ・ 埼玉工業大学 産学官交流センター 担当：加藤康彦  
〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690 TEL 048-585-6856（直）  
E-mail：[kato@sit.ac.jp](mailto:kato@sit.ac.jp) URL：<https://www.sit.ac.jp/>
  
- ・ 深谷観光バス株式会社 担当：取締役営業部長 越塚聡一  
〒366-0829 埼玉県深谷市西大沼 356 TEL. 048-571-1881  
E-mail：[toshikazu@fukayakanko.com](mailto:toshikazu@fukayakanko.com) URL：<http://www.fukayakanko.com/index.html>